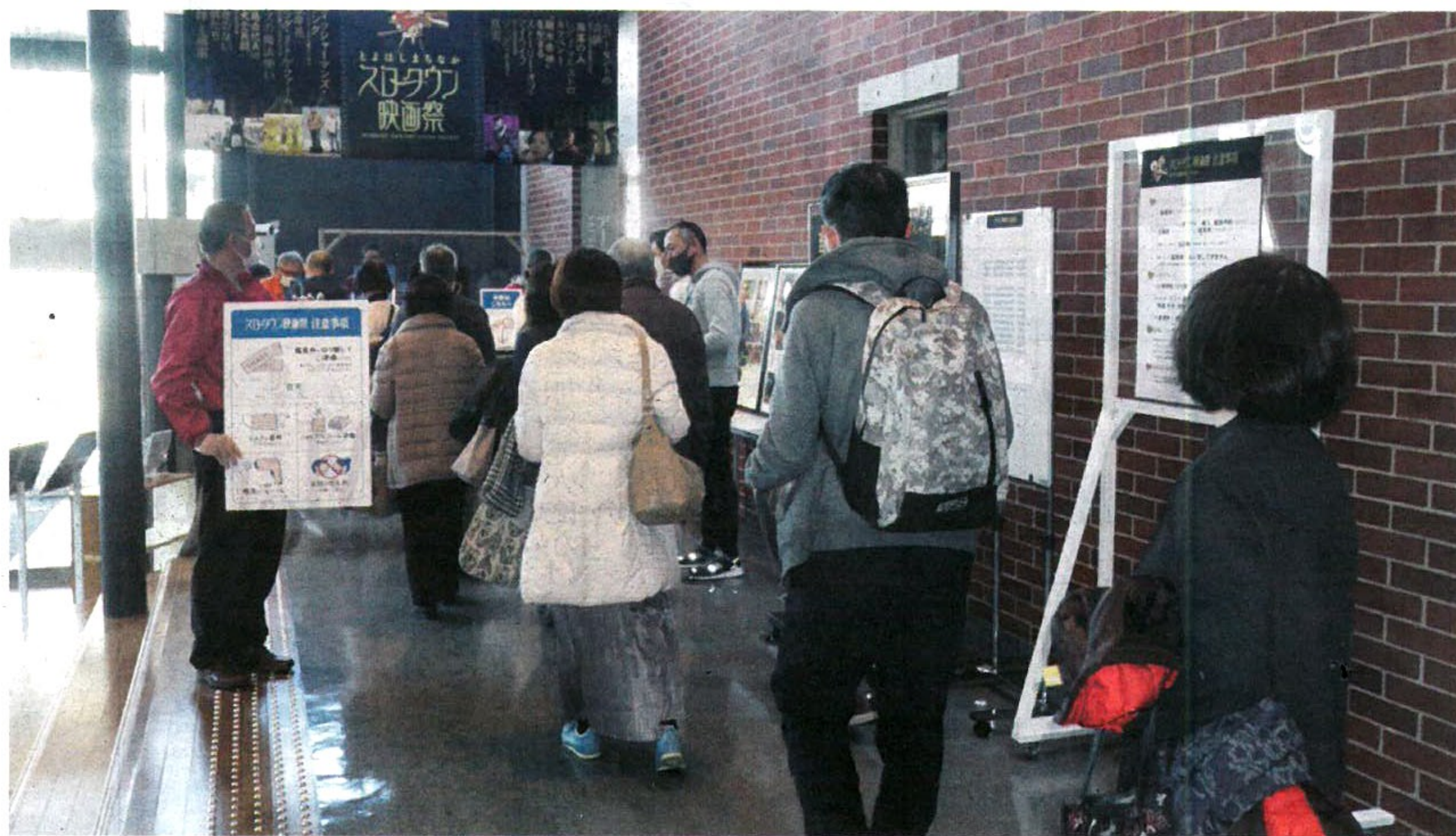


# 一般上映始まる

第19回とよはしまちなかスロータウン映画祭



映画ファンが集まった会場（穂の国とよはし芸術劇場プラットで）

豊橋市西小田原町の穂の国とよはし芸術劇場プラットで6日、「第19回とよはしまちなかスロータウン映画祭」の一般上映が始まった。朝から多くの映画ファンでにぎわった。（大林恭子）

## コロナ厳戒の下 朝からにぎわう

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、細心の注意を払って開催された。入

場者数は定員の50%までとし、入場時の検温と手指の消毒、マスク着用を義務づける。行列を解消するため、全席指定とした。

最初の上映作品と

## しんしろまちなか映画祭は延期

映画祭実行委は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言の発出により、27、28日に新城市文化会館大ホールで開催予定の「しんしろまちなか映画祭2

021」を延期すると発表した。

開催時期は未定。購入済みの前売券は延期後も利用できる。

払い戻しは、3月8日から26日までに新城市役所本庁舎で対応する。

なお、関連企画の上映作品関連映画ポスター展は18日まで継続実施する。

問い合わせはしんしろまちなか映画祭実行委員会事務局へ  
電話0536(23)7697へ。

(原田直樹)

なる「蜜蜂と遠雷」には126人が来場。「チケットはほぼ完売で、多くの人がお集まりいただけだと思う」とスタッフ。豊川市から来た児玉よし子さんは「毎年来ている。今年は1日2本ずつ3日間見る予定。楽しみにしているので開催してくれてよかった」と笑顔を見せた。

同映画祭実行員会の石川誠会長は「安心・安全に見ていただけるよう心がけている。こんな時だからこそ、大きなスクリーンで映画を一緒に楽しみたい。チケットはまだ販売しているのぜひ足を運んで」と来場を呼びかけている。